

会議名 議会改革特別委員会  
開閉日時 平成27年1月13日(火)  
午前 9時59分～午前10時23分  
(休憩：午前10時18分～午前10時19分)  
会場 委員会室

1. 出席者

1番 長谷川 広昌、 2番 黒川 美克、 3番 柳沢 英希、  
5番 柴田 耕一、 7番 杉浦 辰夫、 11番 鷺見 宗重、  
14番 内藤 皓嗣、 15番 小嶋 克文  
オブザーバー 議長、副議長

2. 欠席者

なし

3. 傍聴者

浅岡保夫、幸前信雄、北川広人、鈴木勝彦、内藤とし子、小野田由紀子

4. 説明のため出席した者

なし

5. 職務のため出席した者

議会事務局長、書記1名

6. 付議事項

- (1) 特別委員会第49回及び第50回の検討結果について
- (2) 議会報告会の日程について
- (3) その他

7. 会議経過

委員長挨拶

委員長 次に、本委員会記録の署名委員の指名についてであります。本件については、委員長から御指名申し上げて御異議ございませんか。

「異議なし。」と発声するものあり。

委員長 御異議なしと認め、副委員長の小嶋克文委員を指名いたします。

《議 題》

1 特別委員会第49回及び第50回の検討結果について

委員長 昨日、「議会改革特別委員会第49回検討結果について」及び「議会改革特別委員会第50回検討結果について」を配布させていただき、お目通しをいただいていると存じますが、何か御意見等がございましたら、お願いいたします。

意 見 な し

委員長 ごございませんか。

「なし。」と発声するものあり。

2 議会報告会の日程について

委員長 12月22日開催の議会改革特別委員会において、現議員の任期中、平成27年4月29日までに議会報告会を開催することが決定されました。日

程については持ち帰りとなっておりますので、各会派の皆さんから日程案、日にちと時間の報告をいただきたいと思います。それでは各会派より、御発言をお願いいたします。まず、市政クラブさん。

意（14） 私ども、先回も提案させていただきましたけれども、3月定例会の予算を含めた形で、3月28日、土曜日、午後2時からということでお願いしたいというふうに思っております。

委員長 次に、公明党さん。

意（15） うちのほうも再度協議しまして、議会報告会を開く以上は、やはり、しっかりした準備の上を開くということと、それから、議会中は議会に専念するというこういった確認をしたうえで、まずは、報告内容としては、12月の総務建設、福祉文教、両委員会の報告、それから2月に予定されている臨時会、3月は予算委員会の報告だけで、両委員会の報告をしない。もちろんあと特別委員会の報告がありますけれども、内容としては、この内容で、日程は、今、お話がありました3月28日で、何とかやっていきたいというこういう結論です。

委員長 共産党さん。

意（11） 28日で、協議した結果はいいかなというふうに、どうしてもというお話であれば、仕方がないかなというふうに思います。一つの条件として、3月議会においては、予算委員会の委員長さんが恐らくきちんとしたというか、議会で報告をされるわけですから、その部分は委員長さんが頑張って報告会にはやっていただきたいなというふうに、一つは思います。

委員長 次に、市民クラブさん。

意（2） 私も小嶋委員が言われたとおりで結構です。

委員長 次に、開拓志さん。

意（1） 再度、他会派とも協議しまして、小嶋委員と同様でお願いします。

委員長 各会派より御発言いただきました。再度戻りまして、14番、内藤委員。この内容について、意見ありましたら。

意（14） 小嶋委員のお考えを受け入れてやっていきたいと思っております。

委員長 であれば、3月28日、土曜日、午後2時からということで、内容と

しては、12月定例会、臨時会を含め、3月定例会については、常任委員会の報告会は除き、予算特別委員会の報告は行うということで、それでよろしいでしょうか。

「異議なし。」と発声するものあり。

委員長 異議がなければ、そのように決めさせていただきます。なお、会場…  
…

「ちょっと。」と発声するものあり。

委員長 11番、鷺見委員。

意(11) 3月議会において予算委員会は、委員長報告というか、委員長さんに大変ですけれどもお願いしたいなということで、一つ、意見を言っているはずなんですけど、いかがですか。

委員長 もう一度、確認します。委員長がというのは、予算委員の中で担当を決めずに委員長が報告というそういうことでしょうか。

「はい。そうです。」と発声するものあり。

委員長 14番、内藤委員。

意(14) 小嶋委員の提案に対しては、ほとんど合意ですけれども、ただ、これから具体的な準備していく段階で、3月定例会の各常任委員会の報告は、基本的なしということなんですけど、何か重大な、市民に知らせるべき案件があれば、ここで取り扱っていくことも検討しながらやっていかなければいけないと思いますし。ただ、こういう議案がありましたと、こういう具合に審査しましたという書類も、つくってもいいかなというふうには思っております。ただ、できるだけ報告する内容がどうしても多くなりますので、予算の関係で。だから、結果、限られた2時間という時間の中で報告しますから、限られてきます

から、その2時間という時間を有効に報告するという意味で、基本的に、小嶋委員に賛成ということであります。それから、先ほど鷺見委員が言われた予算特別委員会委員長が全部やれということは、ちょっといかがなものかと。それは予算特別委員会の中で、お互いに融通し合ってやっていったほうがいいのかなどというふうに思います。

委員長 今の御意見以外で、何か進め方、細部については、まだ、今後進めるうえで決めていきたいと思うんですけど、特に、11番、鷺見委員が言われた予算に関しては委員長が、という報告に限ってということ言われているんですけど、それに対して御意見はどうでしょうか。

意(15) 今回、3月の両常任委員会の報告を省いた一つの理由として、やはり、予算委員会も入っているメンバーもみえれば、それから、両委員会に入っているメンバーもいるものですから、そうすると負担がかかります。そういったことで、3月の報告会は、各常任委員会のメンバーは、報告はしないということは、予算委員会だけなら何とかなるだろうという、僕は考えがありますので。だから、全部が全部、予算委員会にぶつけてしまうということは、これはかなりなった人に対して、これはかなりまた負担になりますので。そこら辺は、今、言ったように、ある程度、まだ予算委員会が終わっても時間的にこれはありますので、ちょっと、報告会は。だから、そういった面では、僕は従来のように、予算委員長の発言とともに、委員のやはり報告なりを。これは、僕は取り入れてもいいと思います。

委員長 その意見に対して、鷺見委員。

意(11) ほかの知立にしても、半田にしても、委員長さんが頑張って報告しているということを見ていますし、やはり責任がある方が少し頑張っていたいただきたいなというふうに、気持ちも込めてということで、お願いしたいと思います。

意(15) 今回、僕たちが最初に、まず3月は厳しいなという発言のものは、やはり負担かかると、はっきり言って。それを今の話だと、全部、この予算委員長に全部ぶつけてしまうとその予算委員長がかなり、僕はね、負担になってしまうと思うんです。そういったことを考えると、ちょっと、今の意見という

のは、受け入れられません。

意（３） 驚見委員に御確認なんですが、例えば、驚見委員が委員長を受けたとしても、全部、自分でやるという気持ちでいるわけですか。

意（１１） ええ、やるつもりです。というふうに思いますし、要は、一つは、最終日にまとめるわけですから、その最終日に議会にも報告するわけですので、その分ですましく工夫をすればいけるかなと思っています。

意（３） 小嶋委員もずっとおっしゃっていましたが、ほかの常任委員会も皆で手分けをしてという形で、１６人、全員でやってきたんですけども、ほかの常任委員会についても、先ほど、知立の話が出ていましたが、ほかの常任委員会についても、委員長が全部１人でやっていくという考え方ですか。

意（１１） 今回だけ、確認事項にもあるので、全員でやるということは。今回だけという形で、予算委員会だけは、というふうには思います。

意（３） 今回だけと、３月２８日に日にちを調整して決まったのも、いろいろ忙しいからという中でも、公明党さんからこういう案を出していただいて、やっていく中なのに、今回だけという話がよくわからないんですけども、今回だけの理由というのは、なぜなのですか。

意（１１） だから、振り分けするとすると、やはり、この件に関しては、時間がかかるかなというふうに考えているんです。それで、振り分けしてつくるだけの時間もありますし、資料づくりも、皆さん、委員会で手分けするようにしてやればいいと思うので、報告だけは、委員長さんをお願いしたいと思います。

意（３） 驚見委員が言いたいのは、３月の予算委員会の資料を皆でつくって、報告だけは委員長１人だけでやるということですね。

意（１１） そういうことです。

意（１５） 資料をつくるということは、もう、即、発表にこれ至るでしょう、はっきり言って。一番大事なことは、資料づくりですから、これはやはり。資料をきちんとつくれば、すぐこれは、即、これは発表できる段階ですので。だから、資料をつくれば、別にあとの作業は、何も負担にはならないと思います。逆に言うと、これは。

委員長 11番、鷺見委員、いいですか。

意見なし

委員長 これについては、内容として、3月については、予算特別委員会の報告をということになりますので、予算特別委員会が、まだ委員長も決定しているわけでもないし、委員の方は、ある程度振り分けで決まっていますけど、その中で、再度、皆さんで確認していただくということで、よろしいでしょうか。

「もう1回いいですか。」と発声するものあり。

委員長 いいですか。

「異議なし。」と発声するものあり。

委員長 いいですか、それで。

意見なし

委員長 それでは、異議がなければそのように決めさせていただきます。では再度、確認させていただきます。議会報告会は、3月28日、土曜日、午後2時からということで。なお、会場については、前回お話したように高浜エコハウスが第1希望、予約が取れなかった場合は、中央公民館としますので、御了承ください。なお、きょう、これで日にちと時間が決まりました。場所を予約して取れるようであれば、今回の「ぴいふる」に、日にち、時間、場所の掲載ができる枠はありますので、そこへ載せるようにさせていただきたいと思うんですけど、それでよろしいでしょうか。

「異議なし。」と発声するものあり。

委員長 ありがとうございます。

意（15） これで、2月20日ぐらいで3月の議会が始まりますけども、できればその前に、両常任委員会の配布資料とか、パワーポイントの作業を全部終わるような形でやってもらいたいと。

委員長 もう1回、お願いします。

意（15） 3月議会が始まる前に、要するに、12月議会の両常任委員会の配布資料とか、また、もしパワーポイントをやるならパワーポイントのアップも全部、できれば議会が始まる前に、作業としては終わっていただきたいと。

委員長 告示前ということですか。

意（15） そういうことですね。要するに、先に言ったように、なるべく議会中は、議会に専念したいということですので。

委員長 それでいいですか。

「異議なし。」と発声するものあり。

意（14） 従来ですと、編集委員会が何かいろんなスケジュールとか、何かを決めていたように思いますけど、非常に、議会が終わってから報告会までの間が短いものですから、予算特別委員会が終わってからは2週間か10日ぐらいあるんですけど、議会が終わるのは25日ですよ、確か。そうすると、もう全然期間がないですよ、だから、できるだけ先に小嶋委員が言われたように、早めにスケジュールをね、いつまでに何をやって決めておかないと、非常にタイトで、ちょっとうっかりしていると間に合わないとかね、資料を印刷にまわすこともありますし、いろんなことをもう事前に、今のうちから予定をしておいたほうが、それに乗って皆が調整していくようにしたほうがいいと思いますね。

委員長 今、14番、内藤委員から言われたように、今回、3月の議会報告会をやるに当たって、ある程度、副議長さん、毎回、この議会報告会においては、



編集委員会のほうで、ある程度スケジュールの案を出していただいていますので、再度、ちょっと、私、委員長と調整をとらせていただいて、次の議会改革特別委員会の中には、ある程度スケジュールが出せるような状態にさせていただきたいと思っておりますけど、それでよろしいでしょうか。

意（副議長） 議会だより編集委員会のほうで、大体、先回と同じような形で組んでいきたいなど、そんなふうに思っております。それで、時間もないことですし、何回もやっていただいていますので、役割分担も先回と同じような形で、同じ人をお願いをしたいなど。これも時間を省くということで、それぞれ調整する時間ももったいないというのか、しなくてもいいのではないかなど、そんなふうに思っております。それから、小嶋委員のほうから、できるだけ早くという、資料の作成という話がございましたけども、まさに、そのとおりにかなど、そんなふうに思いますので委員長のほうと調整して、議会報告会の式次第だとか、その辺の項目も決めさせていただいて、そういうものを早めに先回のものから焼き直しをしていきたいなど、そんなふうに思っておりますので、調整方々、一つ、またよろしく申し上げます。

委員長 そのようなことで、よろしいでしょうか。

意 見 な し

委員長 御異議なしと認めまして、次に、一つ、その他を議題といたします。

### 3 その他

委員長 その他、皆さんのほうで何かあればお願いいたします。

「なし。」と発声するものあり。

委員長 なければ、以上をもって議会改革特別委員会を終了……

「日程は、いつ。次の日程はいいのですか。」と発声するものあり。

委員長 すみません。日にちですけど。

「……予算……、議会改革も、それから公共施設の特別委員会もやらないということですか。」と発声するものあり。

委員長 いや。

「暫時休憩していただけますか。」と発声するものあり。

委員長 暫時休憩いたします。

休憩 10時18分

再開 10時19分

委員長 それでは、再開させていただきます。次回の日にはちですね、スケジュールをちょっと組むうえで、副議長さん。

「いつに、案が。」と発声するものあり。

委員長 副議長さんとちょっと調整をとらせていただいて、スケジュールを組んで、それを発表するに当たって次回の議会改革特別委員会の日にちを決めたいと思うものですから。

意（副議長） 今月中ですか。

委員長 皆さんの予定もありますので。

委員間で次回の日程を調整。

委員長 次回、1月19日、月曜日、午前10時半。皆さん、予定をお願いいたします。なければ、以上をもって議会改革特別委員会を終了いたします。

委員長挨拶

閉会 午前10時23分

議会改革特別委員会 委員長

議会改革特別委員会 副委員長